

20人の仲間と共に、長崎市で1泊2日の平和学習

「青少年ピースフォーラム派遣事業」の参加者を募集します！

北九州市の子どもたちを長崎市に派遣し、「青少年ピースフォーラム（長崎市主催）」の中で、被爆体験講話の聴講や原爆犠牲者慰霊平和祈念式典への参列、他都市の参加者との意見交換等を行うほか、本市独自のフィールドワーク等の学習を行うことで、被爆の実情や平和の尊さを学びます。

「青少年ピースフォーラム」とは、毎年8月8日・9日の2日間、全国の小・中学生、高校生等が長崎市に集い、被爆の実情や平和の尊さを学習し、交流を深め、平和意識の高揚を図るものです。

－ 募集要領 －

参加を希望される方は、下記の内容をよくご確認の上、お申し込みください。

1 事業日程

(1) 保護者説明会 及び 事前研修会

7月31日（日）9時～12時、平和のまちミュージアム 多目的室（小倉北区内4-10）にて

(2) 長崎市平和学習 ※1泊2日（長崎市内宿泊）

| 日程 | 行程（予定） |
|-------------|---|
| 8月8日 （月） | 8時 市役所本庁舎集合 → 【貸切バスで長崎市へ移動】 → 城山小学校 → 昼食 → 青少年ピースフォーラム参加（平和会館） → 宿泊先（夕食・勉強会） |
| 8月9日 （火） | 宿泊先 → 長崎原爆資料館見学 → 青少年ピースフォーラム参加 → 昼食 → 青少年ピースフォーラム参加（出島メッセ長崎） → 【貸切バスで北九州市へ移動】 → 19時5分頃 市役所本庁舎到着・解散 |

(3) 事後報告会

8月22日（月）〔PM 時間未定〕、北九州市役所本庁舎（小倉北区内1-1）

2 募集人数 20名程度

3 応募要件 市内に在住する小学5・6年生、中学生、高校・専修学校生等（大学生は除く）で、次の要件を全て満たす者。

- ① 平和学習に意欲があること。
- ② 自力で身の回りの準備などができること。
- ③ 事前研修会・事後報告会を含め、全ての日程への参加ができること。
- ④ 北九州市のホームページや冊子等に氏名、学校名等、活動中の写真や事業終了後に提出いただく感想文等が掲載されることに同意できること。

4 参加費用 無料（交通費、宿泊費、食費、損害保険料等を市が負担します）

※自宅 ⇄ 集合場所間の交通費は自己負担。

5 その他

- ・事前研修会及び長崎市平和学習では、徒歩移動があります。
- ・書類選考により参加者を決定し、応募者全員に郵送で当落の通知をします。（応募者多数の場合は、令和元年度までの未参加者を優先させていただきます。）
- ・市が取得した個人情報について、目的外の使用をすることはありません。
- ・今後、コロナウイルスの感染状況によっては、中止とすることもあります。

6 問い合わせ 北九州市 総務局 平和のまちミュージアム事務局 電話：592-9300

青少年ピースフォーラム派遣事業 参加申し込みについて

参加を希望される方は、「参加申込書（応募動機必須）」を提出してください。

- 提出方法 持参、郵送、FAX、電子メールのいずれかの方法
※FAXで提出する場合は、必ず電話で着信確認をしてください。
- 提出期限 7月19日（火）まで〔必着〕
- 提出先 〒803-0813 小倉北区域内4-10
北九州市 総務局 平和のまちミュージアム 事務局 「ピースフォーラム」係
FAX：592-9305 電子メール：sou-heiwa@city.kitakyushu.lg.jp

参加申込書

令和4年 月 日申込

| | | | |
|-----------------|------------------------------|------------------------------|--|
| (ふりがな) 参加者氏名 | | 性別 | <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 |
| 生年月日 | 平成 年 月 日 (歳) ※令和4年5月1日現在 | | |
| 学校名等 | | 学年 | |
| 保護者等 連絡先 | 自宅住所 電話番号 | 〒 - 電話番号： | |
| | 平日昼間に つながる連絡先 (氏名・続柄等) | 電話番号： | <input type="checkbox"/> 携 帯 () |
| | | 電話番号： | <input type="checkbox"/> 勤務先 () |
| | 電話番号： | <input type="checkbox"/> () | |

応募動機 (「本事業に参加して学びたいこと」など、必ず参加者本人が書いてください。)

《同意書》

令和4年 月 日

応募要件を満たす上記の者の参加申し込みに同意します。

保護者氏名（自署）

（続柄）



令和2、3年度中止した長崎市への派遣事業「青少年ピースフォーラム」事業は、令和4年度は実施する予定です。令和元年度の取組みを紹介していますので、応募を検討されるにあたり、参考にしてください。

長崎市での平和学習

戦争の悲惨さ、平和の尊さを若い世代に伝えるために

令和元年度 北九州市 青少年ピースフォーラム派遣団

北九州市では、平成22年2月10日に「北九州市非核平和都市宣言」を行い、平和な世界の実現に向け努力することを宣言し、長崎に投下された原爆の第一目標が小倉であった経緯を踏まえ、長崎市との平和を通じた交流をはじめ、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えるための様々な取組みを行っています。

その一つで、小中高生を長崎市に派遣し、全国の子どもたちと交流する「青少年ピースフォーラム」事業について、昨年度は実施できませんでしたが、令和3年度は実施予定です。



長崎市立城山小学校「嘉代子桜」前

令和元年度 北九州市青少年ピースフォーラム派遣団 (敬称略、学校名・学年は当時のもの)

| 学校名 | 学年 | 氏名 | 学校名 | 学年 | 氏名 | 学校名 | 学年 | 氏名 |
|---------|----|-------|---------|----|-------|------------------------------|----|------------|
| 戸畑高校 | 3 | 有野 裕平 | 北方小学校 | 6 | 久保 壮真 | 若園小学校 | 6 | 養父 勇彦 |
| 北筑高校 | 2 | 加地 紗彩 | 附属小倉小学校 | 6 | 古賀 結月 | 黒崎中央小学校 | 5 | 有田 野乃 |
| 八幡高校 | 2 | 鐘築 彩 | 永犬丸小学校 | 6 | 四戸 智紘 | 門司海青小学校 | 5 | 飯盛 貴凜 |
| 小倉西高校 | 2 | 六野 沙耶 | 門司海青小学校 | 6 | 竹森 楓子 | 皿倉小学校 | 5 | 河越 太翔 ロブソン |
| 戸畑高校 | 1 | 坪井 美樹 | 門司海青小学校 | 6 | 田中 芹奈 | 明治学園小学校 | 5 | 黒津 朱希乃 |
| 早鞆中学校 | 1 | 乃田 陽希 | 西門司小学校 | 6 | 富松 藤子 | 守恒小学校 | 5 | 佐藤 幹太郎 |
| 黒崎中央小学校 | 6 | 石井 茉奈 | 西門司小学校 | 6 | 中村 真央 | 計 20 名(男 7 名、女 13 名)、引率者 6 名 | | |

1日目 8月8日(木) ピースフォーラム開会式、被爆体験講話

全国35都市、約500名の小・中学生、高校生等が集まり、開会式が行われました。地元大学生などを中心とした青少年ピースボランティアによる開会宣言の後、築城昭平さんによる被爆体験講話がありました。

昭和20年8月9日、当時18歳だった築城さんは、軍需工場へ学徒動員され、爆心地から1.8kmの学生寮で当日の夜勤にそなえた就寝中に被爆し、全身火傷を負いました。つらい体験を乗り越えて、当時の様子を熱く語ってくださった築城さんの姿が、私たちの心に強く刻まれました。



築城 昭平さんによる被爆体験講話
原爆のつらい体験を乗り越えた当時の様子を語ってくださり、真剣に聞き入りました。

2日目 8月9日(金) 長崎市立山里中学校・全校平和集会への参加

山里中学校で行われた全校平和祈念集会に参加しました。

本市派遣団の代表者3名が、小倉が長崎に投下された原爆の第一目標であったことや、今回の派遣で学習したいことなどを発表しました。

山里中では、「被爆の地に育ち、この場所で学ぶものとして、大きな責任を果たさなければなりません。」との山里中平和憲章が生徒会により定められ、平和への取組みを続けています。各学年の発表は、とても力強く印象に残るもので、次の世代に伝えていくことの大切さを学びました。



山里中学校・全校平和祈念集会
平和に対する思いを発表しました。

2日目 8月9日（金） 平和学習（意見交換）、原爆資料館の見学

それぞれ別の自治体の子どもたちとグループに分かれて、ピースボランティアの進行のもと、「今、世界は平和か平和でないか?」「あなたが思う平和とは何か」などのテーマで、活発に意見を交わしました。積極的にたくさん意見を言えた本市団員の姿も見受けられました。

長崎原爆資料館では、目を覆いたくなるような写真や資料が数多く展示されていました。原爆投下までの経緯や、戦後の核兵器開発などの歴史を学び、核兵器の恐ろしさを感じながら熱心に見学しました。



平和学習

全国の参加者と一緒に、それぞれの考えを述べて意見交換しました。

3日目 8月10日（土） 長崎市立城山小学校、山里小学校の見学

爆心地に近く、原爆により多くの犠牲者が出た2つの小学校を見学しました。城山小学校では、北九州市の「嘉代子桜・親子桜」の由来である「嘉代子桜」や「被爆校舎（城山小学校平和祈念館）」を見学しました。

山里小学校では、松尾幸子（さちこ）さんの被爆体験を聞きました。松尾さんは当時11歳で、大切な家族を亡くされました。被爆直後の生々しい状況や、家族への思い、平和の尊さを写真を見ながら詳しくお話ししてくださり、みんな真剣な表情で聞き入っていました。



山里小学校での被爆講話

松尾幸子さんによる被爆直後の様子や平和の尊さに関する話を真剣に聞きました。

その他の活動（事前・事後の活動）

7月7日（日）の保護者説明会及び事前研修会では、事業の目的、派遣日程の説明のほか、北九州市と戦争の関わりや、平和の取り組みについて学習し、各班に分かれて派遣で学びたいことを発表しました。

8月22日（木）の事後報告会では、活動で感じたことや学んだことを、北橋市長に一人一人から報告しました。その後、保護者の方々も一緒にスクリーンで写真を見ながら、長崎市での3日間を振り返り、感想を述べあいました。



【参加者の声（抜粋）】

被爆体験者の方の話を聞いて、今と昔の戦争をすることへの考え方の違いが分かり、戦争の本当の恐ろしさを感じる事ができました。この活動で学んだことを一生忘れることなく、まずは身近な家族や友達に、そしてこれから出会う様々な人達に伝え続けていきたいと思います。

平和祈念式典に全国からたくさんの方が参列していて、こんなにも長崎に平和を願う方々が集まっていてとてもおどろきました。

家族がいること、食べる物があること、着る物、履く物があることに感謝して、毎日を大切に生きようと思いました。

特におどろいたことは、原爆は、そのまま落ちたのではなく、500m上空で爆発したということです。より被害を大きくするためだったそうです。浦上天主堂のかべも爆風力でずれていて、とても恐ろしかったです。もうこんな戦争があってはならないと思います。